

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
2012年3月期 第3四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田 洋一、以下当社）は、本日、第3四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

財務ハイライト

	■ 第3四半期連結累計期間（4月1日～12月31日）		百万円 前年比
	2012年3月期	2011年3月期	
	第3四半期	第3四半期	
売上高	95,738	98,183	-2.5%
営業利益	11,220	9,004	+24.6%
経常利益	9,566	6,119	+56.3%
純利益	5,013	1,821	+175.2%
1株当たり純利益	43.57円	15.83円	

	■ ご参考：通期（4月1日～3月31日）		百万円 前年比
	2012年3月期計画	2011年3月期	
売上高	130,000	125,271	+4%
営業利益	10,000	7,325	+37%
経常利益	10,000	5,390	+86%
純利益	5,000	△12,043	-
1株当たり純利益	43.45円	△104.66円	-

詳細な情報は、本日開示の四半期決算短信 (<http://www.square-enix.com/12q3tanshin.pdf>) をご参照下さい。

ご参考：スクウェア・エニックス IRページ <http://www.square-enix.com/jpn/ir/>

当社の代表取締役社長である和田洋一は、次のように述べています。

「当第3四半期連結累計期間（2011年4月 - 12月）の当社グループの業績は、家庭用ゲーム機向けの大型タイトル（「Deus Ex : Human Revolution（欧米版）」、「ファイナルファンタジーXIII-2（日本）」）が順調にパッケージソフト販売を伸ばしたことに加え、Web、スマートフォン、SNS等の成長分野に向けたコンテンツの課金収入が継続して伸ばしました。

なお、第4四半期（2012年1月 - 3月）は、「ファイナルファンタジーXIII-2」を欧米で発売するものの、成長分野向けコンテンツの開発にかかる先行投資費用等の計上が見込まれることから、2012年3月期通期連結業績予想は変更しておりません。

期初にお知らせいたしました通り、2012年3月期はグループ再構築に全力を注ぎ、2013年3月期より本格的な業績回復を目指していく所存であります。」

以上

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数5,900万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（1億本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（3,500万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。（<http://www.square-enix.com/>）

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。